



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2008年（平成20年）2月15日号 No. 1421

目次

■リペック州の概況と経済特区	1
■クレムリン・ウォッチ:「メドヴェージェフ候補の戦い」	3
■統計速報	5
2007年のロシア経済／5	
■トピックス	6
ウクライナのWTO加盟が決定／6	
近鉄エクスプレスがシベリア鉄道での試験輸送を実施／6	
旭硝子のロシア市場での出荷が伸長／6	
商船三井が日ロ航路間における新代理店設立／6	
黒川設計事務所がカザフの大型案件を受託／7	
■ロシア新着企業情報	7
■ロシア・NIS諸国通貨の為替レート	8

リペック州の概況と経済特区

はじめに

1月28日から2月4日にかけて、ロシアのリペック州からグルホフキナ副知事を団長とする代表団が来日した。ロシアNIS貿易会では、2月1日に代表団の訪問を受け入れ、リペック州の概況と、同州に所在する経済特区に関する説明を受けたので、今回の速報では、これについて取り急ぎ報告してみたい。

リペック州は、ロシアを代表する製鉄所「ノヴォリペック冶金コンビナート」を擁しているほか、白物家電メーカー「Indesit」も有名だ。同州は首都モスクワからも比較的近く、2005年には経済特区も設立されたことから、生産拠点の候補地として、注目を集めている。

リペック州の経済特区は、ロシアに2箇所しかない「工業生産特区」の一つである。これは連邦法にもとづいて連邦政府が承認する形で設置された特区である。実は、リペック州には、州の行政府が設置したローカルレベルの経済特区というものも、数箇所存在する。

2月1日の面談では、州の概況に加え、連邦および州レベルの両方の特区につき説明を受けた。詳しくは、以下の資料をご覧ください。